

紙で作ったリングを投げて遊び、科学の楽しさを体験する子どもたち



弘前大学 工学部 児童ら参加イベント

科学つって面白い

弘前大学総合文化祭に合わせて、弘前大学理工学部（宮永崇史学部長）は26日、一般参加型イベント「楽しい科学」と「サイエンスへの招待」を文京町キャンパスの理工学部1号館、2号館を会場に開いた。多くの家族連れらが詰め掛け、体験教室や遊び、展示を通して科学の魅力や面白さの一端に触れた。（今井珠世）

飛行リングなど挑戦

小学生以上が対象の「楽しい科学」は二足歩行する木製のロボット作りや手作りクライダーを飛ばす遊びなど18企画、高校生以上が対象の「サイエンスへの招待」はコンピュータを利用したパズルやゲーム、光通信の仕事について学ぶデモンストラクションなど19企画が行われた。事前に参加者を募集した体験テーマ教室では、親子連れが学生の指導を受けながらFMラジオ作りや化石の模型作りに熱中した。「楽しい科学」の企画の一つ「飛行リング

を作って飛ばそう」は「回転を与えた物質は回転の勢いを保とうとする」という性質や運動する物体の空気への影響を学ぶことができる遊び。子どもたちは手作りのリングを的に向かって投げ、紙で簡単にできる円が飛んでいく様子を楽しんだ。飛行リングで遊んだ五所川原市の三好小6年酒井麻妃さん（11）は「リングを作るのは簡

単。飛ばすのは少し難しかった。体験教室も楽しかった。面白い」と笑顔で語った。

※この記事は、陸奥新報社提供です。  
無断転載はできません。  
[問合せ先]弘前大学理工学研究科  
jm3505@cc.hirosaki-u.ac.jp